

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	子育て広場のびのびパレット		
○保護者評価実施期間	2024年12月4日		～ 2024年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	2024年12月4日		～ 2024年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	やまびこ医療福祉センターとの連携を通じた定期的なスーパーバイザーによるスーパービジョン（個別・集団・ライブ）を活用して通年的な支援者のスキルアップに取り組み、サービスの質の向上に取り組んでいる。児童発達支援に関する資格や経験を有するスタッフが多く、個々の児童に応じた支援が可能となっている。	定期的に計画を評価し、児童や保護者のニーズに合った支援を提供するよう努めている。	他の支援事業所や団体と協力して、セミナーを開催するなど、合同研修を企画することで地域全体の支援力の向上に取り組んでいる。継続した取り組みを進めたい。
2	定期的な相談やフィードバックを通じて、保護者と密接に連携し、家庭での支援にもつなげる取り組みを行っている。	保護者向けのワークショップを開催して、保護者も応用できる支援内容について情報共有の機会を設けている。	ケース会議や勉強会を定期的に開催して、児童の状況や支援内容についてスタッフ間での共有化をさらに進めたい。
3	地域の障害のある子どもと障がいのない子どものスポ・レク活動を定期的に関催してインクルージョンの推進取り組んでいる。	児童が安心して過ごせる環境を提供するために、静かなスペースや感覚刺激を抑えたエリアを用意している。	子ども同士の交流を通じたインクルージョンの推進に向けて一層の周知、広報活動に取り組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の支援機関や学校との連携に課題を感じている。さらに情報の共有化に取り組みたい。	特定の障害や支援方法に関するスキルアップ研修に取り組みたい。（指定難病患者への支援）	人材確保のためのインターンシップや研修プログラムを検討したい。
2	保護者からの使い勝手のよいフィードバックの収集方法を検討する必要があると思われる。	地域連携の強化に向けた学校や医療機関、福祉機関との連携を円滑にするための体制整備に取り組みたい。	多くの保護者と直接対話する時間の確保に務めるとともに、ペアレント・トレーニング継続して計画的に実施したい。
3		支援プログラムの質の向上に向けた支援方法の研修会等の参加に取り組みたい。	